

第40回全国クレーン安全大会

1 日時

令和元年 11月7日(木) 13時30分～16時40分
11月8日(金) 9時30分～12時30分

2 会場

名古屋市公会堂 大ホール
名古屋市昭和区鶴舞 1-1-3 Tel052-731-7191
JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車徒歩2分

3 主催

一般社団法人日本クレーン協会

4 後援

厚生労働省

5 参加費

無料(参加券が必要です)

6 大会次第

第1日 総合集会(11月7日)

- 開会のことば
- 挨拶
- 来賓祝辞
厚生労働省労働基準局長
愛知労働局長
- 表彰式
- 講演
「安全行政の課題と今後の展開」 厚生労働省労働基準局安全課長
- 特別講演
「事後の100策より、事前の1策～労働災害の根本原因と対策～」
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 中田敬司 氏
- 閉会のことば

講演者のプロフィール

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科
教授 中田敬司 氏(なかたけいじ)

1959年生まれ
広島工業大学卒業後、広島市消防局入局。消防航空救助隊及び国際消防救助隊として活動。
JICA 国際緊急援助隊医療チームメンバーとして、海外の地震及び津波災害救助活動に従事。
日本医科大学大学院博士課程修了。医学博士。

第2日 クレーン等の製造者・使用者の集い(11月8日)

① 名古屋港におけるRTG電動化の効果検証について

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部クルーズ振興・港湾物流企画室 西尾賢二 氏
コンテナ・ターミナルで荷役作業に使用しているRTG (Rubber tired gantry crane) は、エンジンで稼働しているため、メンテナンス頻度が高く、作業の効率が悪くなっている。この課題を解消するため、RTGの電動化を行い、効果検証を行った。

② 3つの手段で天井クレーンに伴う労災事故ゼロを目指す！

(株)五合 代表取締役 小川宏二 氏
進めたい方向にコントローラを向けるだけで移動方向が定まる天井クレーンコントローラ、進めたい方向を動く前に周囲に視覚と音声で知らせる方向表示機、動かした操作記録を取り安全教育に活かせる安全システム。この3つの手段で天井クレーンに伴う労災事故ゼロを目指す。

③ 積載形トラッククレーンの新制御システムについて

古河ユニック(株) 開発設計部開発一課 伊東直貴 氏
積載形トラッククレーンは、多段ブーム化やラジコン装置により簡単に扱える機械へと進化を遂げたが、転倒事故等の要因にもなっているため、更なる安全機能の強化と利便性の向上に着目し、新たな制御システムを構築した。

④ 水平スライドクレーンの開発と現場適用

清水建設(株) 建築総本部生産技術本部機械技術部 高橋康浩 氏
建設現場における生産性向上や作業環境改善を目的とした全天候型環境における揚重作業が可能な水平スライドクレーン(最大作業半径 25m、最大定格荷重 12 t)を開発し、大阪の高層ビル新築工事に適用した事例を発表する。

⑤ 建設用仮設クレーンについて考える

産業リーシング(株) 執行役員 技術施工本部技術部長 伊佐良伸 氏
建設用の仮設クレーンは、安全性、経済性等を目的に、最上階フロアクライミング及び部材の軽量化等、大いなる変貌を遂げてきたが、未来を見据えた理想の仮設クレーンを考える。

⑥ キャブタイヤケーブルレス工事用エレベータの開発

(株)竹中工務店大阪本店 西日本機材センター機械化施工推進グループ 山添大樹 氏
工事用エレベータは地上からキャブタイヤケーブルで搬器に送電しているが、突風で煽られ、搬器への巻きみや捻じれによる断線が発生しているため、給電レールを適用した給電を実現させた。

第40回全国クレーン安全大会参加申込書（申込期限：9月20日）

所在地 _____

事業場名 _____

電話 _____ 担当者 _____

受付番号 (記入不要)	参加者氏名	所属・職名	参加日	
			11月7日	11月8日

(一社) 日本クレーン協会東海支部 宛 FAX 052-231-3219